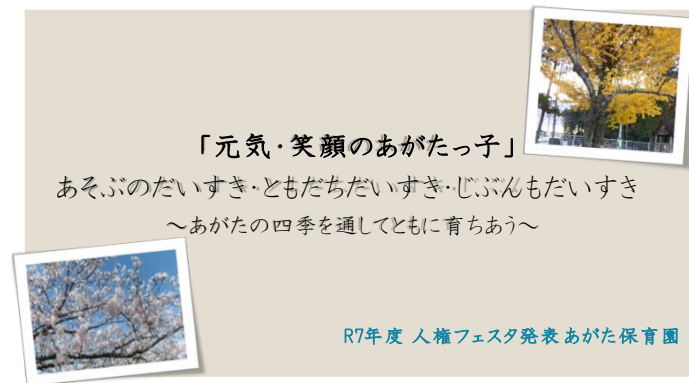




あがた保育園では「元気・笑顔のあがたっ子～あそぶのだいすき・ともだちだいすき・じぶんもだいすき～」をテーマに、各年齢の発達に応じたねらいをもって保育をしています。

身近な人に愛され、大事にされることで、子どもたちは次第に友だちに目を向けるようになっていきます。

友だちとの関わりの中で、互いの違いを認め合い、この先、差別に出会った時にも、「それっておかしいやん」と言い合える友だちとの繋がりを目指していきたいと思います。

子ども同士が繋がっていくために各年齢で大切にしていることをご紹介します。

～つながるために～ 各年齢で大切にしていること

1歳：身近な大人との愛着関係を形成していく時期です。

人と関わる心地よさを感じ、まわりへの興味や関心を持ち、意欲的に活動していけるようにしています。

2歳：自分の意志や要求を伝えようとする時期です。

子どもたちは言葉でうまく表現できない思いを保育者に受け止めてもらい、自分の思いを聞いてくれる人がいるという安心感を持ち、心の支えとしていきます。

保育者や友だちと楽しい時間を共有することで、少しずつ友だちへと関心をよせていけるようにしています。

～つながるために～ 各年齢で大切にしていること

3歳：友だちへの関心が高まり、友だちがしていることに興味を持ち、一緒に遊んだり生活することを楽しむようになります。保育者は、一人ひとりの気持ちを受け止め、共感し、代弁することで、互いの気持ちに気づいていけるような関わりを大切にしています。

4歳：友だちへの関心がさらに深まり、自分の好きなこと、関心のあることを友だちと楽しむようになります。

同時に、自己主張をぶつけ合い、相手の主張を受け入れたり、自分の主張を受け入れてもらったりする経験を積み重ねていきます。

保育者は一人ひとりの葛藤や戸惑っている思いに寄り添い、友だちの気持ちに気づいたり、理解していきけるように関わっています。

5歳：共通の目標に向かって友だちと力を合わせ、やりとげようとする力が育っていきます。

子どもたちが主体的に考え、友だちと考えを出し合い、工夫し、試してみることを繰り返しながら遊びや活動を通して「自分の思いを言葉にすること、相手の気持ちを考えること、協力すること」を大切にしています。

このように、各年齢で発達に応じたねらいを持って保育し、大人も子どもも一人ひとりの違いを認め合い、子どもたちが主体となって自己決定できる環境を整えていきたいと思います。自分の思いを伝えたり、相手の思いを受け入れたり、自分の考えで行動できることが、人権を大切にすることにもつながっていくと思います。

あがたの四季を追いながら保育園の1年間をご紹介します。

春



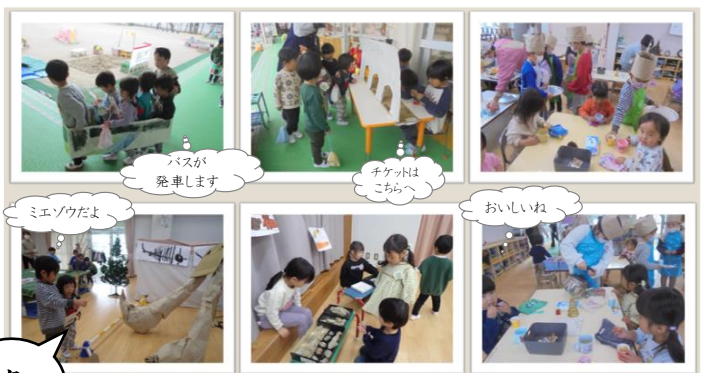
夏



秋



冬



地域の方との交流



あがた保育園の子どもたちは、たくさんの地域の方々に見守られながら生活しています。

これからも、地域の中の保育園として、家庭や地域の機関及び団体の方々のご協力を得ながら、豊かな生活体験をはじめ、保育内容の充実を図っていききたいと思います。

人から愛されることで自分は大事な存在であることを感じ、自分を大事に思う気持ちが育っていきます。

そして自分に自信を持ち、自分で考え、自分で決められる力をつけていきます。

これからも、人が好き、友だちが好き、自分も大好き！という思いをたくさん感じていける保育を目指していきたいと思っています。

そして、自分で見て、感じて、考えて、“それってどうなん？”“それっておかしい”と気付いていけるよう、共に育ちあっていきたいと思っています。

ちがっていても
それもいいね

